

池袋本町 防災まちづくり祭

さる4月26日、池袋本町公園で防災まちづくり祭が開催されました。折からの晴天に恵まれ、会場には1000名もの地域の皆さんが訪れ、大盛況でした。

会場には、防災まちづくりの会や地元町会、消防署などのご協力によって、特色ある5つのコーナーが設けられ、多くの地域の方々が熱心にそれらを見たり、参加したりしました。

展示コーナー

このコーナーでは、会の活動内容を部会別に展示しました。展示パネルは、防災まちづくりの会会員による手作り。内容から最後の仕上げまで、2カ月にわたって準備した成果です。



体験コーナー

池袋消防署に協力を頂き、煙体験、救急救命訓練、水消火器消火訓練、簡易救助器の展示を行いました。煙体験では、煙で避難方向が見えなくなることが体験でき、何度もチャレンジするお子さんもいました。



模擬店コーナー

地元町会の皆さんのご協力によって、カレーライスとおでんのお店がオープンしました。

防災知識コーナー

楽しみながら学ぶ防災知識として、防災クイズを行いました。問題は〇×方式でおこないました。簡単だったためか、なかなか最優秀が決まりませんでした。最後に残った6人の方に豪華賞品が送られました。



相談コーナー

相談コーナーでは、耐震診断を行いました。相談者のお宅の間取りを伺いながら、地震がきても大丈夫かどうかを検討しました。



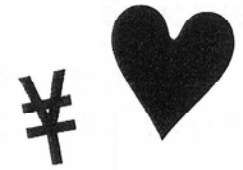
アゼリア名所づくり植樹祭

防災まちづくり祭といっしょに、アゼリア名所づくり植樹祭が行われました。これは、毎年、池袋本町公園で行われているもので、区長の臨席のもと、千葉県野田市から寄贈されたツツジの植樹を行いました。



募金はすべて阪神・淡路へ

模擬店コーナーでカンパとしてお寄せいただいた金額は次のようになりました。この募金はすべて阪神・淡路の復興を支援している「財団法人 まちづくり市民財団 HAR基金」に寄付をさせていただきました。さまざまな形で阪神・淡路の復興のために使っていただけることになりました。



おでん	20,057円
カレーライス	30,718円
計	50,775円

「参考になった」という感想が多くを占めた各コーナー

池袋本町
防災まちづくりの会
アンケート結果の報告

4月の第1回防災まちづくり祭では来場者にアンケートを行い、その結果、27通の有効回答をいただきました。

まず、防災まちづくり祭を何で知ったかについては、21回答があり、そのうち13が「町内会の回覧板・掲示板で」と一番多く、次いで「池袋本町防災まちづくりニュースで」が3、「区の植樹祭に来たから」が2、「知人から」「家族・友人にメンバーがいて」「公園に来たらやっていた」がそれぞれ1ずつ回答がありました。本紙「防災まちづくりニュース」のもっと徹底した配付が望まれます。

次に、各コーナーについての感想では、「参考になった」が一番多かったのは展示コーナーで、27通中23が「参考になった」と答えています。次いで体験コーナーと防災知識コーナーで、それぞれ21通ずつ「参考になった」と解答がありました。相談コーナーは、相談事があった人が主に利用したこともあってか無回答が多くありました。また、模擬店コーナーは「おいしかった」という感想は当たっていても、参考になるならないの問題ではなかったのかもしれませんが。体験コーナーについては次のような意見が記入されていました。

- ・包帯の巻き方も体験し参考になりました。
- ・煙体験も初めてやりました。
- ・体験を重ねて、いざという時に備えたい。
- ・練習していないと、いざという時にできないので、なるべく参加するようにしている。

また、各コーナーを見ての全体的な感想では、次のような意見が記入されていました。

- ・皆さんの努力がしのべれます。今後ともよろしく願い致します。
- ・いざという時どこまでできるか。
- ・指導する方が多く行き届いています。
- ・これからも2,3回と続けて欲しい。
- また、池袋本町防災まちづくりの会については、「以前から知っていた」が11、「知らなかった」が7、「あることは知っていたが活動内容は知らなかった」が4、無回答が5でした。今後の活動については、次のような意見が記入されていました。
- ・地元の住民の声が防災まちづくりに生かされるなら本当に良いと思います。ガンバッテください。
- ・もっと多くの方に広めた方がよい。
- ・町会、老人会等でもっとPR活動をしてもらいたい。
- ・今後とも(防災まちづくり祭)を開催していただきたい。
- もっと知りたいという住民の意見が多く、広報活動のさらなる充実によって、会の活動をよりオープンなものにしてゆく必要性を感じさせられました。(広報部会 江頭 記)